

太田川ダム定礎式を開催



石川知事が「異常気象で各地に大きな被害が出ている。1日も早くダムが完成し、地域住民の安心・安全が確保されることを祈念する」と式辞を述べられました。



地元摩耶保育園によるオープニングセレモニー。かわいらしく、見事な常盤太鼓と踊りででした！

礎石搬入の儀



鎮定の儀



埋納の儀（コンクリート放出）



定礎式は、工事の安全と悠久の堅固を祈願し、礎石をダム本体に納める儀式です。

木遣り唄に合わせ、事務所及び企業体職員が御輿にのせて礎石を搬入し、石川知事、柳澤厚生労働大臣、国土交通省河川局次長、森町長等の手により礎石をモルタルで固定しました。地元摩耶保育園児が夢などを書き込んだ記念石とともに埋納しました。埋納された後は、出席者によりくす玉が割られ、地元の子供たちが風船を飛ばして式を祝いました。



記念石埋納



当日は小雨で少し肌寒い1日でしたが多くの出席者により、無事、式を終えることができました。ダムの本体工事は最盛期を迎えることとなりますが、工事の安全に万全を期すとともに、定礎に参加していただいた出席者の方々への感謝の気持ちを新たに、完成に向け職員・工事関係者一丸となって事業を推進していきます。